



2022年2月15日

各 位

株 式 会 社 フ ィ ス コ
代 表 取 締 役 社 長 狩 野 仁 志
(J A S D A Q ・ コ ー ド 3 8 0 7)
問 い 合 わ せ 先 :
取 締 役 管 理 本 部 長 松 崎 祐 之
電 話 番 号 0 3 (5 7 7 4) 2 4 4 0 (代 表)

株式会社ネクスグループの第三者割当増資の引受けに関するお知らせ

当社は、取締役会において、株式会社ネクスグループ（以下「ネクスグループ」といいます。）が第三者割当により発行する普通株式（デット・エクイティ・スワップ、以下「DES」といいます。）を引受けを決議いたしましたので、お知らせいたします。

記

1. 本件 DES の概要

当社は、2022年2月15日現在、ネクスグループに対する売掛債権 26,372,223 円（以下、「本件債権」といいます。）を有しており、その全額について、ネクスグループが今回、新たに発行する株式を当社に割り当てるものであります。なお、今回の DES による引受については、当社を含め、株式会社スケブベンチャーズ（以下、「スケブベンチャーズ」といいます。）、株式会社ケア・ダイナミクス（以下、「ケア・ダイナミクス」といいます。）、株式会社イーフロンティア（以下、「イーフロンティア」といいます。）の4社（「DES引受各社」といいます。）が引受先となっております。

(1) DES の概要

(1)発行新株式	株式会社ネクスグループ 普通株式 6,423,723 株
(2)発行価額	1株当たり 159円 本件 DES に係るネクスグループの取締役会決議日の直前営業日（2022年2月14日）の東京証券取引所 JASDAQ 市場における同社の普通株式の終値
(3)発行価額の総額	1,021,371,957円 (DES引受各社がネクスグループに対して有する債権を現物出資)
(4)発行又は割当方法	第三者割当による
(5)資本組入額	資本金 510百万円 資本準備金 510百万円
(6)払込期日	2022年3月23日(予定)
(7)出資の目的とする財産の内容及び価額	出資の目的とする財産は、DES引受各社がネクスグループに対する債権 スケブベンチャーズが有する金銭債権及び普通社債残高合計

	709,999,872円 ケア・ダイナミクスが有する貸付金債権残高合計 59,999,922円 イーフロンティアが有する貸付金債権残高合計 224,999,946円 当社が有する売掛債権 26,372,217円
(8)割当先及び株式数	スケブベンチャーズ 4,465,408 株 ケア・ダイナミクス 377,358 株 イーフロンティア 1,415,094 株 当社 165,863 株
(8)増資後の発行済株式総数	27,301,871株
(9)取得後の保有株式数及び議決権比率	スケブベンチャーズ 4,465,408株 (16.43%) ケア・ダイナミクス 377,358株 (1.39%) イーフロンティア 1,415,094株 (5.21%) 当社 2,376,663株 (8.75%)

2. 本件 DES の経緯・目的

ネクスグループは、2012年7月に当社の連結子会社となりましたが、2019年7月8日付「連結子会社の異動（株式譲渡）及び特別損失の発生ならびに通期業績予想修正に関するお知らせ」にて公表しました通り、当社の持分法適用関連会社に異動いたしました。また、2020年6月3日付「持分法適用関連会社の異動を伴う株式の一部売却による特別損失（個別）および特別利益（連結）発生の見込みに関するお知らせ」にて、当社の持分法適用関連会社から除外されましたが、2021年12月31日現在、当社はネクスグループの株式を14.71%（議決権割合）を直接保有しており、主要株主として、引き続き関係性を有しております。

2022年1月に、当社に対し、ネクスグループより2021年11月30日付「当社事業における構造改革の実施のお知らせ」にて公表された、課題の早期解決に向けた取り組みを推進しており、経営資源の選択と集中を目的として、早期の業績回復が見込めないインターネット旅行事業、ブランドリテールプラットフォーム事業から撤退すること、早期黒字化に向けた既存事業の建て直しと、中核事業の拡大および新規事業等による業績拡大が必要不可欠であり、財務基盤の安定化を図り、事業構造改革を推進するために、有利子負債等の圧縮についての方法を模索する中で、当社が有する売掛債権を対象に、DESによる資本の強化を行い、財務基盤の安定化を図りたい旨の説明がなされました。

当社としても、現在もネクスグループの主要株主として同社の株式を継続して保有しており、構造改革の内容及び今後の経営方針について、検討を行いました。当社としては、ネクスグループからの要請を受けて、売掛債権のまま残存させるか、DESの要請に応じるかについて、当社にもたらす利益を比較検討いたしました。売掛債権としてそのまま残存させることによる回収金額に比べて、構造改革による財務基盤の安定化が達成されれば、ネクスグループ株式の株価上昇を背景としたキャピタル・ゲインなど当社にとって、より大きな利益をもたらすことから、一定の合理性が認められると判断いたしました。

今回取得予定のネクスグループ株式を含む、ネクスグループ株式全体に対する当社の保有方針としては、経営権の獲得を目的とせず純投資目的となり、ネクスグループの株式価格が上昇し、株式を売却することにより、当社の特別利益の増加および純資産の増加や対外的な信用力の上昇に繋がり、ひいては当社の企業価値の上昇に繋がるとことを期待しているため、現時点においては小幅の株価の上昇による利益確定売りを短期間のうちに行うことは、予定しておりません。

今回のDESにより、当社の保有割合は低下するものの、引き続きネクスグループとの協業体制を含めた関係性は継続する予定であり、ネクスグループ株式を当社が売却する際には、市場の動向及びネクスグループ株主に与える影響を十分に考慮した上で、その影響がなるべく少ない方法を選択する予定であります。

3. 当該会社の状況

(2021年11月30日現在)

名称	株式会社ネクスグループ	
本店の所在地	岩手県花巻市柵ノ目第2地割32番地1	
代表者の役職及び氏名	代表取締役 石原 直樹	
資本金	10百万円	
設立年月日	1984年4月21日	
事業の内容	グループ企業の経営戦略策定及び経営管理 農業 ICT の企画、開発、販売 上記に附帯または関連する事業	
大株主及び持株比率	投資事業有限責任組合デジタルアセットファンド 16.05% 株式会社フィスコ 14.71% 株式会社実業之日本社 11.32%	
上場会社と当該会社との間の関係	資本関係	ネクスグループは、当社の株式の13.83%を保有しております。
	人的関係	当社取締役の深見修がネクスグループの取締役を兼務しております。
	取引関係	当社は、ネクスグループに対して売掛債権26,372,223円を有しております。

4. 今後の見通し

本件 DES による 2022 年 12 月期の当社連結業績に与える影響は軽微であります。開示すべき事項が発生した場合には、速やかにお知らせいたします。

以 上